



公開研究会のお知らせ

南米経済と日本

- “BRICs” (Brazil, Russia, India, China) に次いで経済発展の潜在力を秘めた国として “VISTA” (Vietnam, Indonesia, South Africa, Turkey, Argentina) の5カ国が注目されています。2016年にはリオデジャネイロで夏季オリンピック・パラリンピックが開催されますが、これを機会に、世界経済における南米地域の存在感はさらに高まることを見込まれます。
- この公開研究会では、アルゼンチンやブラジルを中心とした南米経済の最新動向と見通しを紹介します。講師は、広島大学で博士学位を取得したアルゼンチンの若手研究者。研究会の後半では、南米地域における日本企業のビジネスチャンスについての材料提供をもとに、参加者の方々と意見交換をおこないます。

[期日] 2015年**11**月**20**日(金) 16:30~18:00

[会場] 広島大学東千田キャンパス「第3演習室」

※公共交通機関をご利用ください。

[題目] 南米の経済成長と日本のビジネスチャンス

[講師] ルイス・イグナチオ・アルグエロ氏

1977年、ブエノスアイレス市生まれ。ブエノスアイレス大学卒業後、2004年から2010年まで文部科学省(日本)の国費留学生として広島で生活。広島大学大学院社会科学科博士課程前期、同後期修了。博士(経済学)。地域経済学専攻。現在はアルゼンチンのUniversidad de Belgrano教授、同大のラテンアメリカ地域経済研究センター長。



[言語] 日本語

[定員] 30人程度(無料)

[主催] 広島大学地域経済システム研究センター

[お申し込み・お問い合わせ]

お名前と所属機関(企業、団体、大学など)をご記入のうえ、下記に電子メールをお送りください。

電子メール ecocres@hiroshima-u.ac.jp

電話番号 (082)-542-6991 広島大学地域経済システム研究センター

*広島大学地域経済システム研究センターは、今回のような公開研究会を随時開催するほか、地域の行政・企業・経済団体・シンクタンクと連携しながら、地域経済研究集会を定期的に開催しています。本年度は「地方創生の現状と課題」(仮)というテーマで2015年12月22日(火)に開催します。詳細はあらためてお知らせいたします。多数のご参加をお待ちしております。